

事 項	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「パイオニア100日（系統名P9400）」の特性		
ね ら い	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「パイオニア100日（系統名P9400）」が既存の奨励品種と比較して耐倒伏性、耐病性及び収量性に優れることが明らかとなったので、奨励品種として普及に移す。		
普 及 する 内容	<p>1 来 歴 アメリカで育成されたデント種×デント種の単交配品種であり、平成23年からパイオニアハイブレッッドジャパン㈱が販売している。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア106日（系統名36B08）」との対比）</p> <p>(1) 初期生育は同程度で良好である。</p> <p>(2) 生育日数は1日程度遅い早生品種である。</p> <p>(3) 長稈で着雌穂高も高いが、倒伏折損の発生は少なく、耐倒伏性に優れる。</p> <p>(4) すず紋病の発生は同程度であるが、紋枯病の発生は少なく、耐病性に優れる。</p> <p>(5) 乾物収量は3か年平均で108%の多収を示す。</p>		
期待される効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先 (電話番号)	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成26年度 東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 「パイオニア100日 (P9400)」の生育特性及び収量

(平成24～26年 青森畜産研)

品種・系統名	年次	初期生育	絹糸抽出期 (月/日)	刈取日 (黄熟期) (月/日)	生育日数 (日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	倒伏 (%)	折損 (%)	病害		乾物収量		雌穂割合 (%)	TDN含有率 (%)
										すす紋病	紋枯病 (%)	総重 (kg/10a)	標準比		
P9400	H24	6.3	8/4	9/24	136	255	111	0.0	0.0	1.0	12.2	1,908	106	62.5	72.3
	H25	8.7	7/28	9/11	125	278	134	0.0	0.0	1.0	16.7	1,758	102	60.1	71.6
	H26	7.7	7/26	9/10	125	247	125	50.1	0.0	2.0	17.0	1,765	119	53.6	69.9
	平均	7.6	7/30	9/15	128	260	123	16.7	0.0	1.3	15.3	1,810	108	58.8	71.3
36B08 (標準品種)	H24	5.7	8/4	9/21	133	227	94	0.0	0.0	1.0	32.6	1,804	100	60.0	71.6
	H25	8.7	7/29	9/11	124	248	108	0.0	0.0	1.0	22.2	1,719	100	55.7	70.5
	H26	8.7	7/27	9/10	124	218	110	96.6	0.0	2.0	25.9	1,486	100	41.4	66.8
	平均	7.7	7/31	9/14	127	231	104	32.2	0.0	1.3	26.9	1,670	100	53.0	69.8

- (注) 1 初期生育は9 (極良) ~ 1 (極不良) とする評点法による。
 2 すす紋病は被害程度と被害面積に応じて1 (無) ~ 9 (甚) とする評点法による。
 3 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。
 4 TDN推定式: $56.0 + 0.26 \times \text{雌穂割合}$ 。
 5 H26: 7/27の強風による影響で倒伏。倒伏による受精障害により雌穂乾物収量低め。

耕種条件

項目	内 容
試験圃場	畜産研究所内圃場 (平成26年で連作7年目の圃場)
播種期	平成24年5月11日、平成25年5月9日、5月10日 (標準品種)、平成26年5月8日、5月9日 (標準品種)
栽植密度	7,017本/10a (畝間75cm、株間19cm)
施肥量	N-P ₂ O ₅ =10-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a
除草法	播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2~4葉期に茎葉処理剤を散布